

## 2020 年度研究奨励賞表彰式 2021 年度 第 2 回研究会を開催 7 月 3 日 (土)



昨年に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、役員会および総会は郵送審議、第 1 回研究会は中止となっております。

緊急事態宣言が解除され、7 月 3 日 (土) に 2020 年度研究奨励賞表彰式および 2021 年度 第 2 回研究会をようやく開催する運びとなり、関西大学 学術フロンティア・コア 3 階会議室にて感染症拡大予防に配慮した形式にて開催することができました。

今回は会場参加 22 名、Zoom 参加 8 名、計 30 名の方にご出席いただきました。

開催にあたり、西村会長ならびに先端科学技術 推進機構長 棟安実治教授からご挨拶をいただきました。

### 2020 年度 研究奨励賞表彰式

表彰式では、2020 年度研究奨励賞受賞者に対し、西村会長から表彰状・副賞が授与されました。当日出席の高野史章氏、菱田空斗氏・山下夢来生氏による研究内容の説明に会場は大いに盛り上がりました。

受賞者の皆様におかれましては今後のますますのご活躍とご発展をお祈りいたします。

#### ▶ 2020 年度 研究奨励賞受賞者 (敬称略、所属・資格は 2020 年度のもの)

高野 史章 / 化学生命工学部 化学・物質工学科

Team B “Color Change based easy COVID-19 detection at home”

中阪 友太郎 / 理工学研究科 環境都市工学専攻

大規模地下街での短時間集中豪雨を想定した浸水時における避難に関する検討

菱田 空斗・山下 夢来生 / 環境都市工学部 都市システム工学科

楓 橋 (かえでばし)

玉利 仁 / 理工学研究科 環境都市工学専攻

当て板ボルト補修と接着を併用したストップホールの応力低減効果



◀ 化学生命工学部 高野史章氏の表彰と研究紹介の様様。  
緊張の中、パワーポイントを用いて丁寧にご説明くださいました。

環境都市工学部の菱田空斗氏、  
山下夢来生氏。  
デザインされた模型をもとに、  
熱心にご説明くださいました。▶



## 2021年度 第2回研究会

表彰式の終了後、第2回研究会として環境都市工学部 北詰 恵一教授による講演を開催しました。

### 演題:「スマートシティのもとでの健康まちづくり」 環境都市工学部 教授 北詰 恵一 氏

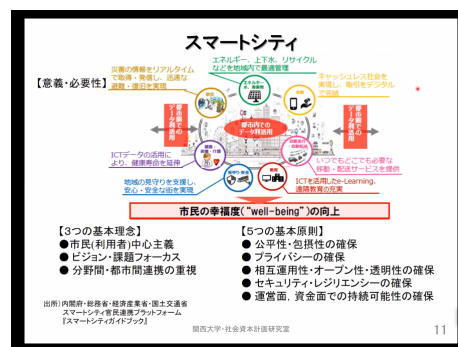


近年、「スマートシティ」が注目されており、世界中の多くの都市が実現に向けて動き出しています。内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省がスマートシティの取組を官民連携で加速するために設立した、「スマートシティ官民連携プラットフォーム」に関西大学は「健都スマートシティ協議会」として参画しています。第2回研究会では、協議会委員の責を担っておられる北詰教授よりスマートシティとご自身の専門分野である健康都市について実践例を交えて話していただきました。

スマートシティガイドブックに記載されている、スマートシティとは「市民の幸福度の向上」のためにあるという根幹の認識が重要です。なかでも【健康】は日常生活を基本とするスマートシティとは親和性の高いものです。「ICT データの活用により健康寿命を延伸」とガイドブックに記載されていますが、情報の取得とその加工においては「外れ値（異常値）」の見極めや、潜在化している情報の抽出など技術的課題があります。

潜在化している価値をどのようにして見出すかを主課題とし、価値創造のための共創手法を考えながら将来ビジョンに向けて取り組んでいる関西大学リビングラボという活動があります。「市民ができる夏の暑さ対策」をテーマとして、参加市民にセンサーを貸し出し、収集されたデータを大学で解析して結果を渡すというシステムを実例として紹介いただきました。この例では市民自らの自己体験データ収集によって、外出を誘導する街づくりへの提言につながっています。

「スマートシティが見せてくれる姿は確かに魅力的だが、それでも最後は、日常の町にいるユーザー、市民に聞け」という文言が大きくスライド投影されました。これまで47都道府県すべてでさまざまな街を見て、いろいろな要素を取り出しながら進めてこられた北詰先生の研究は、スマートシティの基本理念である「市民中心主義」と基本原理にある「公平性・包摂性（だれも取り残さない）」の実践的手法として今後の取組がさらに期待されます。



## 第15回関西大学理工学国際シンポジウム2021を後援



毎年、関西大学とアジア地域4大学とで輪番開催しております「理工学国際シンポジウム2021」が、本年度は8月5日(木)、8月6日(金)の二日間で開催されることになりました。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりましたが、今年度はWEBにて開催される運びとなりました。

振興会ではこのシンポジウムを後援するため、第2回研究会において、西村会長より長岡康夫 理工学研究科長へ10万円の寄付をお渡し致しました。

**アンケートの回答** 今年度も当会研究会について、会員の要望を把握し今後の研究会運営に反映するため、アンケートを実施いたします。第2回となる今回は15件の回答をいただきました。研究会の内容について、皆様より「大変参考になった」「参考になった」との回答をいただきました。関心のある技術分野については「機械・メカトロニクス」「環境・エネルギー」、次いで「素材・材料」が多数ございました。知りたい情報については、「研究者の研究内容・専門分野」「実用化が期待される研究成果」との回答が多く見られました。その他「複数分野にわたる発表があればよかった」「新しい話が聞けて良かった」との意見がございました。これらの結果を、今後の研究会活動に反映するよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。